

かい

Bブロック 全作品と講評

www.columnland.net/

にて作者さん&読者さんの声実況中

かい

碧い海、広がる砂浜

とめどなく続く波の音

岩場の陰にそつとかくれて

じつと身を耐えている

あつ、大きな波がきたよ！

さようなら・・・

そしてまた、こんにちは

Creator

数学という学問の面白さのひとつに解答を考える面白さがある。数学の解答にはどこにも分かれ道の無い一本道であることを要求されるのに、初めと終わりさえあっていけば実はいろんな道の進み方がある。たとえば最近証明されたポアンカレ予想。これを証明したグレゴリー・ペレルマンは多くの人が解答に最も有力ということで用いようとした位相幾何学をまったく無視して、微分積分学と物理学によって解いてしまった。もしこれから先、諦めずに位相幾何学でどうにかポアンカレ予想を証明してみせる人が登場するとすれば、ポアンカレ予想の証明には全く違った2本の一本道が開通することになる。全く異なる手法で同じことが証明できてしまう。そう考えれば数学の可能性は無限に広がる気がしてくる。そんな難しい例を引き合いに出さなくても、たとえば高校の数学。ここに、ある図形の問題があるとすると、A君は座標を設定するかもしれない。B君はベクトルを導入するかもしれない。C君は図形における定理・公理をフル活用して一切計算せずに解答するかもしれない。ひとつひとつの道に分岐があつてはいけなが、走り出す方向はみんなバラバラでもいい。ある道は舗装された下り坂かもしれないし、ある道は険しい山道になるかもしれない。先ほどのポアンカレ予想のように、みんなの考える道はどこかで行き止まりになっていて、隠れた小さな入り口から入ればゴールまでいける、なんてこともある。数学は最終的な答えはひとつだけれど、そこへ至るプロセスには無限の広がりがある。それは考える自分のひらめきと創造力にかかっている。そんな風に考えれば数学者ってどんな分野にも負けない究極のcreatorなんじゃないかって思えてくる。数学の解を求めている時、人はcreatorになる。解が先に分かっている時だって、そこへ至る道を頑張つてcreateしている。そうやって自分も数学を解いてみる。ついていけなくなってきた大学の数学が、少し楽しくなってきた気がする。もう少し頑張ってみよう。

繁栄の貝殻

とある銀河のある惑星。その空気は美味く、食べ物の味もよく、草花で満ちていた。しかし、N氏は独身だった。

ある日N氏が近くの海岸を散歩していると、一枚の瑠璃色のきれいな貝殻が落ちていた。N氏はそれを家に飾ることにした。

数日後、N氏以外誰もいないはずの部屋から「もしもし、もしもし」と声が聞こえてきた。どうも貝殻からその声は聞こえているらしかった。N氏は貝殻を通して何度かその相手と会話した。会話を通じて、その人が女性であること、どこことなく惹かれる要素をもっていることなどがわかった。N氏は恋に落ち、告白をして、彼らは結ばれることになった。

N氏は、そのすばらしい貝をみんなにもあげたいと思った。その貝は、以外にも、簡単に増やすことができた。N氏はそれを惑星じゅうにばらまいた。

貝はすぐに広まり、結ばれる人たちがたくさんいた。しかし、人々はあるところにきずいた。あまりにも増えるスピードが速すぎるのである。きずいたときにはもう手遅れだった。惑星は貝に埋もれてしまった。

まさに繁栄の貝殻であった。

昼休み

「……暇だな。」

「うん。」

「しりとりでもするか。」

「え、なに、いきなり。」

「しりとりなのり。」

「やるの……。えへへ。じゃあ、りんかい。」

「いばらぎ。」

「茨城っていばらきらしいよ。」

「ふへん。じゃあいばらき。」

「き……きかい。」

「い……いきもの。」

「の……のみかい。」

「い……いけ。」

「け……けっかい。」

「い……いし。」

「し……しかい。」

「い……いた。」

「た……たんぼ。」

「……いや。お前、かい で攻めてきてたんじゃないのかよ。」

「えっ……。別にそうじゃないけど？」

「……かい じゃないのかよ……。」

「いや……、そこまで言われても。」

「かい じゃないんかい！」

「………ハハハ。」

「ハハハじゃねえよ……。」

「……暇だね。」

「うん。」

子供

今日はほのぼのいい天気
だから家族で潮干狩り

熊手で砂をひとかき
きれいに五本の線が引ける
そんなことが楽しくて
ほるのを忘れて線を引く

ちょっと深くほってみる
穴に水がにじんでくる
そんなことが楽しくて
貝を忘れて穴をほる

今日は貝のお味噌汁
一つ一つ模様がちがう
そんなことが楽しくて
食べるの忘れて貝を並べる

今日はほのぼのいい気分
明日が早く来ないかな

快適な空間

時は二十一世紀中頃、某国では、新都市開発構想が持ち上がった。都市の回りを膜で覆ってしまう、シエルター構想が提案されたのだ。

「シエルター都市を実現させる理由は、きちんとした目的がある。」ニースキャスターは続ける。「二十世紀から問題視されてきたオゾンホールの拡大、地球温暖化、酸性雨に歯止めがからず、外出することで簡単に皮膚がんになってしまうという、深刻な状況になっている。われわれは、重い宇宙服のようなスーツを着ることを余儀なくされている。このシエルター構想が実現されれば、シエルターが有害な光を吸収する。人は再び身軽な格好になれる。快適な空間をこの手にもどせるのだ。」と大々的に国内で報じられた。

某国で事業が始まった。問題になったのは、膜の作り方だ。この膜の研究が最大の課題で、多くの時間、金が投じられ、トップレベルの少数精鋭チームが極秘裏に選抜された。総歳出千兆ドル、期間五十年という壮大な事業は成功した。完成の日、人が一斉にスーツを脱ぐ式典が開かれ、人々が手を取り合って喜んだ映像がテレビを通して全世界におくられた。

しかし、奇妙な事態が起きた。衛星からの画像がどんな時間でも、某国上空では真つ暗になったのだ。変な行動を起こそうとしても、衛星によって探知できるという奇妙な安心感は崩れ去った。某国は、絶対に常に監視せねばならないという国だけに、その動揺はひときわ大きかった。安保理では、膜を壊す案が出された。しかし、「膜を壊して、我が国の民を危険に陥れようというのなら、即刻報復を行う」との声明が出されて、手出しできなくなった。

「これで世界を脅すなど、容易になりましたね」

「そうだな。この膜に覆われている限り、こちらの動きはつかめん」

「ところで、麻薬工場の件ですが……」

「もう閉鎖していいぞ。あれならもつと儲けられるからな」

「では、あれの工場を増やして……？」

「そうだ。お得意様につくるやつだ。地上で堂々つくれるんだからな。だが、膜は売らない。なんでもできるこの快適な空間は、私だけのものだ。」

貝殻

ぼくは モテモテだ

いろんなパートナーと出会える

でも 出会いの数だけ別れがある

別れは つらいけど

つい合わなくなったのなら

仕方がないこと

また 合う相手を待っただけだ

次に会う相手にも

別れが来るってことは

わかってる

でも 相手の成長の助けになるなら

本望だ！

なぜなら それは

ヤドカリに背負われる貝の

宿命だから・・・

自分との闘い　～限界への挑戦～

まだ大丈夫

まだいける

まだ諦めるな

ここまでくれば自分との闘い

ここであつさり勝負を捨てて

いつもみたいに自分に負けてしまうのか？

今日はそんな弱い俺はどこにもいない

絶対に

絶対に

——最高のフィニッシュを迎えてみせる——

・・・あの決意から・・・どれだけの時間が経っただろうか・・・

目がかすみ

足は否応なく震え

額には玉のような汗が浮かぶ・・・

だめだ・・・限界か・・・

よろよろと立ち上がり

こぶしを握りしめ

ただ前だけを見て進む

あの最後のコーナーを曲がつて

俺の目に飛び込んでくるのは

W・C・の文字・・・！

夢にまで見たこの扉を開け

そして今、最高のフィニッシュへ・・・

ああ・・・

快・・・感・・・

宝物

貝殻が珍しくていつも大切にしている。

すべて風化してなくなってしまう前に、

海の近くに住む子供のように、

無限の貝殻を拾いたい。

—平和という名の

感染

緊急の連絡が入った。

M島のラン村で未知のウイルスが発見された、という内容だった。

我々日本細菌対策研究所の所員はすぐさま現地に向かった。

チームリーダーには私が選ばれた。

H村の細菌によって引き起こされた惨劇を解決したことが認められたのだろう。

飛行機での移動中に新たな情報が手に入った。

『ラン村はすでに全員が感染。そのウイルスは神経に影響を与えるタイプ。』とのことだった。

M島にはもう一つ、ルー村がある。そちらはまだ感染しきっていないはずだ。対策本部はルー村におくことを決めた。

M島はそのほとんどを木々が覆い、飛行機が着陸できるのはラン空港のみだった。ラン空港に降り立った我々は、ラン村を素通りし、大急ぎでルー村に向かった。

ルー村には小一時間かかった。道路も舗装されていない、貧しい感じのする島だった。早速ルー村の村長に話を聞いてみた。

村長「かいカーいイつかいカカーいイカイカイかいいいかい！」

……この島で使われている言語は英語だったはずだ。

「かいカーいカイつかい！」「カッカイーッつかいカイ！」

……どうやら手遅れだったらしい。

このウイルスは喉もしくは脳の言語分野に影響を与えるようだ。

村人もみなこのような状況だった。私は血液を採取し、研究所に戻った。

移動中も調査に没頭し、気がついたときには研究所であった。

所員達も、没頭している私を邪魔しないように計らってくれたようだ。

しかし、どんなに血液を調べてみてもそれらしいウイルスが見つからない。

完全に行き詰まり、気分転換にテレビをつけた。

ニュースキャスター「かいカーいイッつかい！」

……………

ここであくやく私は気づいた。

感染していたのはルー村の村人ではなく私であったと。

そしてこのウイルスは聴覚に影響を与える、ということ。

過去と未来の 一年間

神に 祈つて (春)

隠れて願ひ続けてた。あいつに恋をしてたから。「いつかどうか」と願つてた。

一緒に行こうと無理に誘つた桜狩り。真つ赤に綺麗な夕日の中で、あいつの気持ちを初めて知った。嬉しいのに涙がこぼれていった。

悲しい 命 (秋)

カエツテコナイ。出シテモ出シテモ返ツテコナイ。約束ノ日ニモ帰ツテコナイ。

いつの日からかあの日が来ない。体が重いし胸も張る。医者へ行ったらおめでとうと祝われた。一体何ヲ祝ウトイウノ。

彼は 異国へ (夏)

体を何度も合わせては2人の愛を確かめた。あの幸せはずっと続くと思つてた。

言い出したのはあいつの方。うなずいたのは私の方。夢を追いかけていと私に言つた。行つてらっしゃいとあいつに言つた。

形見と いつまでも (冬)

家族や知人友人からは「若いのだからやめなさい。」何度も何度も言われ続けた。それでも一緒に生きると決めた。

いつかこの子が育ったらあなたが一番好きだと言おう。そして一番好きだった人の話をしよう。

かい【甲斐・詮・効】 行つた物事に対するむくい、

また、好ましい結果。

(引用元Ⅱ学研モバイル国語辞典)

先ず隗より始めよ

「優秀な人材を集めるにはどうしたらよいか？」

「中国ではまず隗より始めよという言葉があります。元になった話では賢者を集めるために、宰相の隗さんを厚遇するとい話で……」

「さて、それでどうやって人を集める？」

「隗さんは「自分のようなつまらない人間を厚遇してくれるならば、賢者は自分ほもっと厚遇されると思うからやってくる」と考えたらしいです。」

「なるほど、まあそれやってみようか」

「ならば社長、私が隗をやります。この言葉は言い出した人間が最初にやり始めよという言葉です。だから先ず隗より始めます」

「まあ、いいか。んじゃ好待遇用意しておく」

実行したら確かにたくさんさんの求人があつて、しかも優秀な人がたくさん入ってきて作戦は大成功しました。

でも不況のせいで会社自体の業績が悪化してしまいました。

「会社の業績が悪化した。どうすればいいと思う？」

「まあ、妥当にいけばリストラでしょう。使えない高給取りをクビにして経営の規模を縮小、業績が安定するまでシェイプアップするのがいいかと」

「そうだな。じゃあ先ず隗より始めよということで、手始めにおまえクビね」

「えっ、あの、ちよっ」

その後会社の業績はよくなりました。

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	君のいない世界	2 pt	10 位	0 sp
		人生の階段をひとつ登って、ふと後ろを振り返る。戻らぬがゆえに、いとおしく懐かしい。誰にも経験ありそうな、そんな小さなセンチメンタルを、親しみやすく、さくっと伝えて、シンプルなだけに、ラスト1行にこめられた思いがふうわり広がります。		
A02	快速についての説教	12 pt	4 位	1 sp
		酔っぱらいのおじさんトークがしっかりサマになって、するする読めて、ふふっと笑えて。こうやって聞いていると快適と便利は違う、って意外と深い名言な気がしてきます。それもまた、おじさんトークパワー、なのでしょう。特別賞：鈍行賞（共感できた）		
A03	サザエの磯焼き	4 pt	8 位	0 sp
		タイトルで種明かししちゃうのがもったいないくらいに、ていねいにこまやかに演出ができていてすばらしい。ザンコクな死を描いているはずなのに、こんなにもコミカルでかわいいなんて！		
A04	回顧	15 pt	3 位	3 sp
		ラップ調♪ リズムよし、ボキャブラリーの豊かさよし、ドラマの盛り上がりよし。 きれいに整って、あざやかでした。おめでとう、ブロンズメダル！ 特別賞：エイベックスにもっていきま賞（歌えたから）ラッパー賞（もはや音楽の道に進んでほしい） いんふんでるで賞 イチオシフレーズ：「街中～風解」のかいの連鎖		
A05	おつかれさま	4 pt	8 位	1 sp
		ふむ、怪ですか。いきなりの真夜中電話から引き込まれて、とぼけ味にしっかりはまりました。がたん！ヘンなのゾロゾロ百鬼夜行も楽しいけれど、じつは墓場の強制移転なんですうなんてオチが付くと、投げっぱなしより、読者もさらに楽しめたのでは。特別賞：よく出来ているで賞（巧かったです） イチオシフレーズ：「すずめ荘（雀荘？）」		
A06	『解』の使い方	1 pt	11 位	0 sp
		ラスト1行のインパクト巨大莫大無限大です。いろいろなパターンがあるなあと気軽に眺めていた時だけに、虚を突かれておおおおでした。イチオシフレーズ：「二人の最適解を見つけませんか」×2 永遠の宿題編		

	A07	雨の夜に	19 pt	1 位	1 sp
			すべての行に「かい」が入ってる！気づいたTAさん 総立ちでブラボー!! でした。 硬質なフレーズをつないで中世ヨーロッパのゴシック 教会イメージ。 そのどっしりした重々しさを「ニャー」で受け止めた オチに啞然呆然です。 堂々の首位の今夜は、きっと缶詰じゃないディナーで すよ、おめでとう!!! 特別賞：ニャー賞（受賞理由「ニャー」） イチオシフレーズ：「ニャー」×3		
	A08	解	0 pt	12 位	0 sp
			決断を迫る言葉の力強さと歯切れ良さ、しっかり叩き 込んできていただきました。 「私と行くかそれとも奴と」——ここから男と女の ドラマが、ありあり見えてくるところが良いです ね～。 シンプルに攻めたのに、10に持って行かれてしまった のが残念ドンマイ。		
	A09	水泳の授業	5 pt	7 位	0 sp
			神作品だ！TAさんたち騒然。 破壊力、すばらしいです。ワカメのビキニで、コース ロープが経費で落ちない、と。 ぶっ飛んだ発想力と描写力にブラボー!! めでたくイチオシフレーズ大賞です。 イチオシフレーズ：「三つの貝をワカメで結んだビキ ニスタイル」「僕の股間と胸に張り付いた三つの貝 と、それを結ぶワカメは完全に僕の一部と化してい た」「コースロープは経費で落ちない」「マウンテン ゴリラ」「これでマウンテンぶっ飛ばして来い」		
	A10	無題（ひとつ じゃない し・・・）	16 pt	2 位	2 sp
			ちょっと評価に悩みます。 お題が「かい」だから、あ「解」かと納得できるけ ど、それはお題依存になってしまう。まあ「愛」とか に置き換えても読めるので、反則すれすれラインか な。 これを2位まで押し上げたフロアのみなさまは、さ て、どこまで深くこのフレーズを受けとめたのでしょ うか。 コラム歴4年の練達作者さんの到達した境地、でし たっ。おめでとう!! 特別賞：キャッチコピー賞（短くていい）ズルい賞 （2行なので） イチオシフレーズ：「ひとつじゃないし、あるとも限 らない」		
	A11	快と悔	6 pt	5 位	2 sp
			ドラマティックな展開を、よくまあこのスペースにお さめましたね。しかも、説明風ナレーションなしで、 セリフだけで状況をしっかり分からせたテレビドラマ 的手法があざやか。 ややエレガントさに欠ける表現（もっとぼかして書け るはず！）と、時系列の分かりにくさが難か。 特別賞：僕も息抜きしたいで賞 変態で賞（着眼点がお		

		もしろい) イチオシフレーズ：「お前のは別のヌイてんだろ」
		6 pt5 位5 sp
A12	回文恋占い	がんばった！ものすご〜くがんばった!! 回文だからどうしても苦しい言い回しになってしまうところを占いという設定にしたことでクリアしたアイディアが光ります。 どっちから読んでも結果は同じさ、なんてツッコミもしゃれてて、ほんとにほんとにおつかれさまでした、タカハラさん。 おみやげに最多特別賞をお持ちくださいませ。 特別賞：努力賞（すごいたくさんさんの回文 ナイスファイト!!） 回文賞（天才）よく考えたで賞（がんばった回文うめえ またガンバレ） がんばったで賞（がんばってるから） 努力賞（回文作るの大変だったね）

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
		4 pt	9 位	0 sp
B01	かい	波にさらわれては、また戻ってくる貝、という設定でしょうか。 絵本テイストで、ラスト1行が、とてもかわいけれど、もう少し情景を読者にも共有できると、よりこのメルヘンタッチが活きたかなと思います。		
		12 pt	3 位	0 sp
B02	Creator	自分への、みんなへの応援メッセージ。論理的にしっかり組み立ててあるので、すとなんとすなおに腑に落ちます。 起承転結、段落はしっかり区切りたい。それだけで、読みやすさが200%アップします。 でも主張はしっかり受けとめてもらえて、おめでとうブロンズ・メダル！		
		5 pt	8 位	2 sp
B03	繁栄の貝殻	瑠璃色の侵入者。しかして、その意図は？ そこが見えないだけに、惑星が貝殻で埋め尽くされちゃうというシュールな光景が、いっそう不気味に迫ってきます。 なぜ人類がそれに惹かれてしまったのか、もう少し鮮明に見えると、より怖さが増したのでは？ 特別賞：空のキャンパス賞（空のキャンパスだから） 星新一賞（パクリかなあ） イチオシフレーズ：「まさに繁栄の貝殻であった」		
		7 pt	7 位	1 sp
B04	昼休み	できたての友だちの、まだ話題があまりなくて、ちょっと間が持たない空気感かな、と読みました。 日常の会話のなかに、お題をさりげなく溶かし込んだあしらいぶりが、洒落てますね。 「暇だね」が地味に人気だったのも、よかったです。 特別賞：地味なやさしさで賞（「たたかい」「たかい」などを使わなかった） イチオシフレーズ：「……暇だね。」×3		
		9 pt	4 位	1 sp
		絵日記風。 ほのぼの〜♪ が、それこそほのぼのと伝わってきます。		

B05	子供	特に、五本の線引きが楽しかったり、穴掘りがおもしろかったり、まさに子供視線になりきってるあたり、うまいなあ。 タイトルとラスト1行、つまり「はじめ」と「おわり」に小ワザが効くと、もっとグレイとになったのに。惜しい。 特別賞：賛否両論賞（意見がわかれた）
B06	快適な空間	2 pt10 位1 sp あの国が空からも見えなくなっちゃったら、それはそれは怖いよね。 そんな想像を誘いつつ、シェルターの悪夢。独裁者オチでブラックにご提供でした。 ほんと、「あれ」って何でしょう？ 特別賞：あれなんで賞（気になる！）
B07	貝殻	0 pt12 位0 sp ヤドカリと貝をパートナーに見立てたところが新工夫でした。 「モテモテだ」っていきなり威張っちゃうと読者さんを敵にしまうので、あなたが大きくなれるなら私はこの身を捧げるわ♪と自己犠牲っぽくしてみるのも一案だったかも。 イチオシフレーズ：「ぼくはモテモテだ」
B08	自分との闘い ～限界への挑戦～	20 pt1 位5 sp わははは、ばっかだなあ。体に悪いよー、と上手に読者の笑いを誘っていただきました。 このミョウに力こぶの入った描写がすてきです。 でも、よい子はマネしないでね。 とりわけ男性諸氏の共感と呼んだのでしょうか、金メダル&最多特別賞&イチオシフレーズ大賞の三冠達成です、おめでとう!!! 特別賞：しょうもないで賞（アホやから） WBC賞（WBCと間違った） がんばったで賞（字体の工夫やがんばった感じ） 綾小路賞（快感がOZMAっぽいから） 快感で賞（ああ・・・快・・・感・・・） 賛否両論賞（意見がわかれた） イチオシフレーズ：「ー最高のフィニッシュを迎えてみせるー」「WC」「ああ・・・快・・・感・・・」×3
B09	宝物	2 pt10 位0 sp 海辺を映し出した青い映像にふっと乗ってくるキャッチコピーのような。 うつくしさは出ていますが、レイアウト、もっとがんばりたい。 何より主題の「平和」へ、よりなだらかにつなげると、もっとくっきりメッセージが立ってきたと思います。
B10	感染	13 pt2 位2 sp 旬なネタですね。 まわりがヘンと思い込んでたら、じつは自分がヘンなんだ。ビューティフルな逆転劇でした。 お題の入れ方の強引さも、かえってユーモラスでGOOD。 TAさんに、ランランルー好きがいらしたのも幸い。 そんなこんなで、お祭り気分のシルバーメダル、おめでとう!! 特別賞：ドナルド賞（ランランルー） 強引で賞（かいの使い所が無理矢理） イチオシフレーズ：「かいカーいイっかいカカーーい

			カイカイかいいいかかい！」×3
			8 pt5 位2 sp
B11	過去と未来の 一年間		ロマンティックにしっとりまとめて。 リズムカルに展開しつつ、秋の連のせつなさがとりわけ 心に沁みます。 特別賞：胸キュン賞（胸がキュンキュンしたから。最後 の引用が良い）） だんだん気づいたで賞（議論してか ら、いろいろなところに「かい」が含まれていると分 かった） イチオシフレーズ：「引用元＝学研モバイル国語辞典」
			8 pt5 位1 sp
B12	先ず隼より始め よ		隼ことわざを柱に明と暗。 シンプルに構成されてコント風。 オチは読めるのに、リズムよく楽しめる。すてきです。 特別賞：隼賞（その）「かい」かよ!!)